

一・二次募集採択自治体
 三次募集採択自治体

●唐津市

ダイバーや漁業者と協働して海洋ごみの回収と「アマモ」の種苗投入を行うイベントや街中の清掃活動等、海洋ごみ問題や海洋生物への影響への理解を深める啓発イベントを開催する。イベントを通じてごみが海に流出するリスクを認識し、流出抑制の重要性を啓発、海洋ごみ問題への意識を高めると同時に、本取組の広域展開による海の生物多様性の保全につなげる。

●生駒市・対馬市（共同申請）

背景が異なる生駒市と対馬市が連携し、海洋プラスチックごみの削減と環境教育/キャリア教育の2つの軸で授業パッケージを作成・実施する。パッケージは対馬市で回収された海岸漂着物とアップサイクル品を活用し、大学の協力を得て、五感で学べる授業とする。双方の自治体の学校間交流と、海洋ごみ問題に対する当事者意識の醸成と行動変容を促す。

●静岡市

市内小中学校を対象に、プラモデルを題材とした海洋プラスチックごみ問題を学ぶモデル授業を実施する。児童・生徒らによる清掃活動や、廃PETがプラモデルに再生される過程を学び、漂着したごみのリサイクルがいかに困難かについて理解を深め、海洋プラスチックごみを生み出さない意識を養う。取組の様子は他地域の学校でも活用できる教育プログラムの素案へ活用し、全国の小中学校へも発信する。

●大台町

清流日本一で知られる宮川の水質を維持するため、流域の町内外の関係者等に啓発を行いながら、ダム湖のごみを回収するプラスチックフィッシング大会を実施し、収集したプラごみのアップサイクル事業を行う。産官学の多様なステークホルダーが、それぞれの役割を果たしながら積極的に関わる仕組みを構築し、事業化を通じて取組の継続性を確保することを目指す。

●今治市

自然共生サイトに認定された織田ヶ浜をフィールドに、海洋ごみ問題対策として海岸清掃等活動の可視化による活動促進、「拾い箱」の設置等を実施する。さらに希少動植物の保護やデジタル通貨の導入実証等の取組と併せ、海洋ごみ問題を含む地域課題の克服に向けた多面的な普及啓発を実施し、行政・企業・地域団体等との連携を促す仕組みの創出を図る。

●兵庫県

海洋ごみの現状と対策に関する授業と、得られた知識等を踏まえてリサイクル食品トレーのデザインを考案するセミナーを実施する。考案したデザインはスーパーで提供される食品トレーに掲載、さらに回収したトレーは店頭回収を通じた水平リサイクルを行う。海洋ごみの発生抑制に向けた普及啓発の実施とともに、地域内での資源循環の実現や他自治体への横展開を図る。

●度会町

児童・生徒から家庭へ資源循環の考え方の普及を狙い、「資源ごみ分別マイスター養成講座」や「河川清掃」を実施する。取組に賛同・実践する自治会や老人会、スポーツクラブ、商工会等様々な団体・事業者を「宣言の店」として登録・情報発信を行い、児童・生徒のみならず全町規模の取組へと拡大・発展させ、持続可能な地域づくりやプラスチック削減を推進しつつ、流域自治体や企業・団体等との連携を促進する。

自治体名	連携先企業	概要
静岡県 静岡市	株式会社BANDAI SPIRITS 市内海岸清掃団体（市民団体）	市内小中学校を対象に、プラモデルを題材とした海洋プラスチックごみ問題を学ぶモデル授業を実施する。児童・生徒らによる清掃活動や、廃PETがプラモデルに再生される過程を学び、漂着したごみのリサイクルがいかに困難かについて理解を深め、海洋プラスチックごみを生み出さない意識を養う。取組の様子は他地域の学校でも活用できる教育プログラムの素案へ活用し、全国の小中学校へも発信する。
三重県 大台町	IXホールディングス株式会社 株式会社Verde大台ツリズム 株式会社REMARE	清流日本で知られる宮川の水質を維持するため、流域の町内外の関係者等に啓発を行いながら、ダム湖のごみを回収するプラスチックフィッシング大会を実施し、収集したプラごみのアップサイクル事業を行う。産官学の多様なステークホルダーが、それぞれの役割を果たしながら積極的に関わる仕組みを構築し、事業化を通じて取組の継続性を確保することを目指す。
三重県 度会町	度会小学校、度会町商工会、度会中学校、 伊勢農業協同組合度会支店、内城田郵便局 他3局、いせしま森林組合、グッディ度会店、ウ エルシア度会葛原店	児童・生徒から家庭へ資源循環の考え方の普及を狙い、「資源ごみ分別マイスター養成講座」や「河川清掃」を実施する。取組に賛同・実践する自治会や老人会、スポーツクラブ、商工会等様々な団体・事業者を「宣言の店」として登録・情報発信を行い、児童・生徒のみならず全町規模の取組へと拡大・発展させ、持続可能な地域づくりとプラスチック削減を推進する。さらに、町外への情報発信等を通じて、流域自治体や企業、団体との連携を促進する。
兵庫県	小野市 株式会社エフピコ 小野市内小売企業（スーパー）	海洋ごみの現状と対策に関する授業と、得られた知識等を踏まえたリサイクル食品トレーのデザインを考案するセミナーを実施する。考案したデザインはスーパーで提供される食品トレーに掲載、さらに回収したトレーは店頭回収を通じた水平リサイクルを行う。本事業により海洋ごみの発生抑制に向けた普及啓発の実施とともに、地域内での資源循環の実現や他自治体への横展開を図る。
奈良県生駒市 長崎県対馬市 (共同申請)	株式会社リングスター 奈良教育大学ESD・SDGsセンター 立教大学ESD研究所 奈良北高等学校	背景が異なる生駒市と対馬市（海岸の有無など）が連携し、海洋プラスチックごみの削減と環境教育/キャリア教育の2つの軸で授業パッケージを作成・実施する。パッケージは対馬市で回収された海岸漂着物とアップサイクル品を活用し、大学の協力を得て、五感で学べる授業とする。双方の自治体の児童・生徒に対して、学校間交流とともにパッケージを実践し、海洋ごみ問題に対する当事者意識の醸成と行動変容を促す。作成したパッケージは他の自治体への展開も目指す。
愛媛県 今治市	今治商工会議所、東芝ライテック株式会社 今 治事業所、株式会社渡辺建設、第一環境企 業有限会社、四国ガス株式会社、FMラジオ バリバリ、南海放送株式会社、越智今治農業 協同組合	自然共生サイトに認定された織田ヶ浜をフィールドに、海洋ごみ問題対策として海岸清掃等活動の可視化による活動促進、「拾い箱」の設置等を実施する。さらに希少動植物の保護やデジタル通貨の導入実証等の取組と併せ、海洋ごみ問題を含む地域課題の克服に向けた多面的な普及啓発を実施する。本事業により行政・企業・地域団体等との連携を促す仕組みの創出を図る。
佐賀県 唐津市	一般社団法人ふくおかFUN、佐賀県立唐津西 高等学校、丸紅株式会社、ウォータースタンド 株式会社、一般社団法人GBPラボラトリーズ、 佐賀県脱炭素社会推進課、佐賀玄海漁業協 同組合	ダイバーや漁業者と協働して海洋ごみの回収と「アマモ」の種苗投入を行うイベントや街中の清掃活動等、海洋ごみ問題や海洋生物への影響への理解を深める啓発イベントを開催する。イベントを通じてごみが海に流出するリスクを認識し、流出抑制の重要性を啓発、海洋ごみ問題への意識を高めると同時に、本取組の広域展開による海の生物多様性の保全につなげる。